『本能寺の変　明智光秀冤罪説』

本能寺姉弟　三寺絵梨子　池田修平〈兵庫県在住〉

姉弟で検証を重ね「光秀はやっていない！」

18年間の研究成果を一冊に

本能寺の変で織田信長を討ったのは明智光秀ではないと説く書籍を姉弟でまとめた。

姉の三寺絵梨子さんはふだん占い師として活動、弟の池田修平さんは理系技術者として勤務するかたわら、ともに研究とフィールドワークを18年重ねてきた。

これまで謀反の理由は数多く挙げられてきたが真相は不明。なのに、なぜ「光秀はやっていない」可能性を検討しないのか。そんな思いから研究を始めたという。

古文書の原文と現代語訳を併記

冤罪を立証する試みとして「正しい天下の取り方がある」など六つの証拠を挙げ、古文書を示しつつ分かりやすく解説。当初は現代語訳のみ載せていたが、編集担当の提言で原文も追加した。引用法や出典表記など正確を期し、説得力を増す結果につながった。

校正について三寺さんは「自分たちでは見落としていたこと、知らなかった視点や知識を学ぶことができました」と感嘆する。

450年もの大きな誤解を覆す

また、三寺さんは「史料を精査し、通説とは異なる視点から事件の経緯を再検証しました」とも語り、池田さんは「約450年も大きな誤解が続いてきました。真犯人は誰なのか、一読して納得いただければ」と続ける。

琵琶湖畔の取材には県内企業に勤める末弟の池田玲さんが同行したこともあり、玲さんが撮影した湖の写真を使ったしおりを作成。イベント販売時などに配る記念品として利用している。

2026年は「豊臣兄弟！」と「本能寺姉弟」がブレイクする年になりそうだ。

明智光秀の無罪を立証する試み。
1,980円（税込）

滋賀県庁で記者会見。右から、執筆した池田修平さんと三寺絵梨子さん、琵琶湖の写真を持つ末弟の池田玲さん

プロフィール

▼本能寺姉弟
姉（三寺絵梨子）が考証と分析を担当し、弟（池田修平）が史料の読解を担う。姉は講師としても活動しており、論理的な分析と表現力で歴史の本質を伝える。著書に『大切り本能寺の変』『たぶん、光秀はやってないのだ放浪記　大切り本能寺の変へ続く道』（ともにパレード、2021年）。

公式サイト

▼三寺 絵梨子
1982年、兵庫県生まれ。神戸女学院大学卒。占い師「じぇふ」として活動し、イラストレーターとしても活躍。著書に『27星座 宿曜占星術』（魔女の家BOOKS、2015年）、『もしも彼女がシャム女なら』（ペンコム、2017年）。

公式サイト

▼池田 修平
1985年、兵庫県生まれ。神戸大学大学院卒。株式会社ノーリツ勤務。理系技術者。